

英 語

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 五つの領域において、基本的な語句や表現に繰り返し触れることができるよう工夫されているか。
	(5) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などが明確に設定され、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動が行われるよう配慮されているか。
	(6) 日本を含む様々な国の文化に触れることができる題材を取り上げているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

英語

観点	発行者	東 書	開隆堂	三省堂
<p>1</p> <p>育成を踏まえて、豊かな人間性・個性・内長</p>	<p>(1)</p> <p>かとする像が成育目じ教 なる「目」的て科 「内」指「目」の 「容」育本標及「特 て、成育す「一」教質 い構に人教の「育に る成資間育達教の応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年のテーマを5年「日本でつながるわたしたち」、6年「世界とつながるわたしたち」と設定することで、身近な地域・日本及び世界の生活や文化など異文化理解が図られるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年は自分や身近な人々や地域、6年は外国の生活を題材にした単元を系統的、発展的に配列することで、自他の理解を深め、我が国や地域を愛する態度を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の名所・名物や、外国のまつり、世界のいろいろな仕事など、日本のことや世界のことを知る題材を設定することで、自国の文化や異文化への理解が深められるよう配慮されている。
	<p>(2)</p> <p>かわる習をつ史文崎ふ れ題に深い、化のる て材生めて自伝さ いがかかる理然や統と る扱せ学解に歴・長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6年では、出島と伊東マンショとカステラの絵が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年では、桃カステラの写真が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年では、坂本龍馬の写真と龍踊の絵が掲載されている。
<p>2</p> <p>学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1)</p> <p>よ技基 う能礎 工が的 夫確 さ実 され本 に習的 得な さ知 れ識 るか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「Starting Out」「Your Turn」「Enjoy Communication」「Over the Horizon」の順で単元を構成することで、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図られるよう工夫されている。 ・各ページと別冊の「My Picture Dictionary」を関連させることで、語彙に関する基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図られるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語句や表現に、繰り返し触れ、慣れ親しみながら表現につなげる単元構成にすることで、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図られるよう工夫されている。 ・各単元の「Let's Listen and Read」では音声と文字を結びつける活動を行うことで、文字に関する基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図られるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「HOP」「STEP(Lesson)」「JUMP」の順で単元を構成し、それを繰り返すことで、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図られるよう工夫されている。 ・「Sound Chant」や「Word Chant」など英語に慣れ親しむ活動を設定することで、音声に関する基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図られるよう工夫されている。
	<p>(2)</p> <p>る力必課知 か、要題識 よう表なを う現思解 工力考能 夫等力す さが育活 れた用 て成判め いさ断に</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「Your Turn」では、お互いに尋ね合うなどのペア活動を設定することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 ・既習表現を活用した「Enjoy Communication」を各単元で設定することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の「Let's Try」では、ペアワークを取り上げることで、楽しみながら思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 ・「Activity」では、場面に応じたコミュニケーション活動を設定することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の「STEP」の「Let's Talk」では、伝え合う活動を取り入れることで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 ・「JUMP」では、既習の学習内容を活用してプレゼンテーション活動に取り組む場面を設定することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。
	<p>(3)</p> <p>さ態主 れ度が体的 ている身に か、付習 く、取 より組 工組 夫む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元に設定されている「Over the Horizon」で、諸外国の人々の日常生活を学習内容と関連付けて取り上げることで、興味・関心が高まるよう工夫されている。 ・各単元に、身近な生活を舞台としたストーリーを設定することで、主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元冒頭の見開きに身に付けさせたい力をゴールとして示し、その達成に向けたためあてを併記することで、見通しをもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・教科書巻末の「CAN-DO チェック」で年間を通して何を学び、何ができるようになるのかを示すことで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化・他国の文化、自然、将来の職業など、幅広い題材を取り上げることで、興味・関心が高まるよう工夫されている。 ・各単元の中心となる言語活動に向かって、どのように学びを積み重ねていくかを可視化することで、目標に向かって見通しをもちながら学習できるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

英語

観点	発行者	教 出	光 村	啓林館
<p>1</p> <p>図教育踏まえる上での特長</p> <p>教育基本法上の理念や趣旨・内容等を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る</p>	<p>(1)</p> <p>かとす像が成育目じ教 なる「目」の的て科 内「目」の「の っ育す本標及一特 て、成「具」び教質 い構に人教の「育に る成資問育達教の応</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世界の子供たちの生活の様子に触れ、異文化に関心を広げたり、世界との一体感を感じたりすることで、国際社会に貢献しようとする態度を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な国の小学生の考えや暮らし方に触れることで、他国を尊重し、日本人として国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国の文化や生活、SDGsに関連する取組を知る題材を設定することで、異文化理解を深め、他者と協働して国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮されている。
	<p>(2)</p> <p>いる材にをにやのふ るか生深つ歴伝る か扱かめい史統さ わをせるて、と れる学理、・ て題習解然化崎</p>	<ul style="list-style-type: none"> 5年では、カステラとちゃんぽんの絵が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 5年では、自分の地域の魅力を伝える活動が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 6年では、グラバー園の絵が掲載されている。
<p>2</p> <p>学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1)</p> <p>工能基 夫が礎 され確 れ実・ てに基 い習本 得的 るな か。さ れる知 識よ う技</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単元末に学習内容や活動の振り返りをする「Review」を設定することで、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図られるよう工夫されている。 単元末に英語の音声の特徴や日本語との違いに気付かせる「Sounds and Letters」を設定することで、音声に関する基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図られるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Hop!」「Step1, 2」「Jump!」「まとめ」と段階を踏んだ単元構成にすることで、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図られるよう工夫されている。 巻末の「Picture Dictionary」では、カテゴリごとに単語を分類・整理することで、語彙に関する基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図られるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Words and Phrases」「Listen and Do」などで語彙の意味や使い方を考えたり、声に出したりすることで、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図られるよう工夫されている。 「Let's Read and Write」で文字を段階的に書いて慣れ親しませることで、書くことに関する基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図られるよう工夫されている。
	<p>(2)</p> <p>る力必課知 かる。要識 よ。表なを う現思解 工夫考決 力が力能 さが力活 が育た用 成判し 成断め いさ断にて</p>	<ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて推測し、内容と絵を結びつける活動「Let's Listen」を繰り返し行うことで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 「Activity」や「Final Activity」で、ペアやグループでの活動を多く取り入れることで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の「Let's try.」では、伝え合う活動を取り入れることで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 「You can do it!」では、複数の単元で学んだことを活用した表現活動を設定することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Watch and Do」では、相手意識などのコミュニケーションにおける配慮事項を考えさせることで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 「Activity」で実際にコミュニケーション活動を設定することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。
	<p>(3)</p> <p>工む主 夫態体 さ度的 れがに て身学 いで習 に付に るか。取 く。り よ。組</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「Let's Read and Act」では、国語科や道徳科で学習した物語の英文を取り上げることで、興味・関心が高まるよう工夫されている。 1年間の学習目標を明確に示したうえで、「英語でできるようになりたいこと」の欄に自由に書き込ませることで、学習意欲を喚起するよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年でできるようになることを明確に記し、「CAN-DOリスト」で繰り返し自己評価を行うことで、見通しをもって段階的に学習が進められるよう工夫されている。 「Let's speak.」「Plus One」でペアやグループでの活動を多く取り入れることで、主体的に学習に取り組む態度を養うことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Did you know?」では、異文化の情報を多く扱ったり、関連した雑学クイズや「SDGsコラム」を設けたりすることで、興味・関心が高まるよう工夫されている。 「Look Back」で学習事項及びできるようになったことを確認し、英語を用いる生活場面を考えさせることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

英語

観点	発行者	東 書	開隆堂	三省堂
<p>学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 五つの領域において、基本的な語句や表現の領域に繰り返し触れることのできるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全ての単元で言語材料の配列をスパイラルかつスモールステップにすることで、言語材料に繰り返し触れることができるよう工夫されている。 「Your Turn」では、音声を聞いたり、友達と会話したりすることで、学んだ表現を繰り返しながら、学習内容の定着が図られるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Let's Listen and Read」では、音声を聞きながら文を指で追う活動を設定することで、音声で慣れ親しんだ語句や表現が文字と結びつくよう工夫されている。 「Story Time」では、該当単元で学習した言語材料を用いた絵本などの読み物に触れる活動を行うことで、楽しみながら読む力を育てることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各UnitをLessonやJUMP、ABC Fun Boxなどの小単元で構成することで、言語材料・言語活動などをスパイラルに学ぶことができるよう工夫されている。 「Story Time」では、物語を読む活動を設定することで、慣れ親しんだ語句や表現に触れたり、意味を推測しながら聞き取ったりすることができるよう工夫されている。
	<p>(5) コミュニケーションを行う目的や場面の状況などが明確に設定され、自分の考えや気持ちを表現できるよう配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「Enjoy Communication」では、学習してきた表現を確認した後、それらをもとに英語を使う実際の場面を設定することで、自分の考えや気持ちを表現できるよう配慮されている。 「Check Your Steps」では思考ツールを用いて、伝えたい内容を整理し発表する活動を設けることで、学習の定着や自分の言葉で伝えようとする態度の育成に役立つよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴールの言語活動に向け、単元の第1時から毎時間言語活動を積み重ねることで、互いの考えや気持ちを繰り返し伝え合うことができるよう配慮されている。 毎時間、言語活動「Let's Try」「Activity」を設定することで、目的、場面、状況などを明確にしてコミュニケーション活動を行うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> Lessonの導入で、一枚絵の「Panorama」を活用することで、身近な場面において語句や表現を使う目的や場面を意識できるよう配慮されている。 「JUMP」でUnitをしめくくる言語活動を設定することで、Lessonで学習した語句や表現から目的、場面、状況に応じた発表活動ができるよう配慮されている。
	<p>(6) 日本を含む様々な国の文化に触れることができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「Over the Horizon」では、外国の映像を見たり、物語を読む活動を行ったりすることで、多様な文化に触れ、言語の背景にある文化を理解できるよう配慮されている。 5年「Welcome to Japan!」では日本の素敵な場所、6年「Let's see the world.」では世界の行きたい国を取り上げることで、日本や世界の文化の良さに気付くことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Let's Watch and Think」では、世界の子供が自分や自国の文化を紹介する英語を聞いたり、映像を見たりすることで、異文化を理解できるよう配慮されている。 「Around the World」「Our World」で海外の言語、伝統や文化などに触れることで、日本の文化を再確認したり、他国を尊重したりする態度を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Hello, World!」では、様々な国の学校や仕事、スポーツなどを取り上げることで、多様な文化に興味をもつことができるよう配慮されている。 6年「We have Children's Day in May.」の単元では、日本の行事や地域について取り上げることで、その良さに気付くことができるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

英語

観点	発行者	教 出	光 村	啓林館
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 五つの領域において、基本的な語句や表現の繰り返し触れられることのできるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「Let's Read and Act」では、絵を見ながら物語を聞く活動を設定することで、学習した語句や表現に繰り返し触れることができるよう工夫されている。 「Sounds and Letters」、「Review」では、音声と文字のコーナーを設けることで、文字や音に慣れ親しむことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元をHop!、Step1、Step2、Jump!で構成することで、聞く活動から話す・書く・読む活動へと進めることができるよう工夫されている。 「Alphabet Time」では、文字を聞いたり読んだりすることで、音と文字の関係やイラストから単語や文を読む力を養うことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学期の最後に「REVIEW」を設定することで、コミュニケーション活動を通して「聞いて話す」、「読んで書く」などの学習ができるよう工夫されている。 「Let's Read and Write」では、アルファベットを聞いたり書いたりすることで、文字と音の関係に慣れ親しむことができるよう工夫されている。
	<p>(5) コミュニケーションを確に設定する目的や場面、状況など、明確に設定する目的や場面、気持などが伝わるよう配慮されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「Activity」では、ペアやグループでの活動を多く設けることで、言語や文化、コミュニケーションなどについて、思考や関わり合いを深められるよう配慮されている。 語句や表現に十分に慣れ親しんだ後、「Final Activity」の活動を設定することで、自尊心を育てるとともに、相手に配慮しながら、よりよい対話を作り上げるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Plus One」や「Phrase Hunt」では、既習表現の活用場面を設定することで、自分の考えや気持ちを表現できるよう配慮されている。 各単元の「Small Talk」では、アニメの問いかけに応じる活動を設けることで、既習表現の活用と定着を促し、対話を続けることに慣れることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各Step後の「Activity」では、ペアやグループの活動場面を設定することで、慣れ親しんだ語彙や表現を使ったやりとりから、気付きを促し学びを深められるよう配慮されている。 「REVIEW」では、目的、場面、状況に応じて話し合う場面を設定することで、相手意識をもって話すことやどのような点に気を付ければよいか考えることができるよう配慮されている。
	<p>(6) 日本を含む様々な国の文化に触れることができるよう配慮されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 5年「Where do you want to go?」の単元では、日本各地の名物などを取り上げることで、日本文化に対する知識や関心を高められるよう配慮されている。 6年「Welcome to Japan.」の単元では、日本文化に関する様々な事物を取り上げることで、外国人に紹介しようとする意欲を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「世界の友達」では、様々な世界の子供が自国を紹介する場面を設定することで、それぞれの国の特徴や文化に触れることができるよう配慮されている。 6年「Welcome to Japan.」の単元では、日本の行事や季節等を取り上げることで、日本文化の魅力を再認識することができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Did you know?」では、世界の様々な情報を紹介することで、様々な国の生活や文化、日本との違いに触れることができるよう配慮されている。 6年「Welcome to Japan.」の単元では、導入のページで日本の名所や名物を多く取り上げることで、日本文化の魅力に触れることができるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

英語

観点	発行者	東 書	開隆堂	三省堂
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章量は、豊富に分かりやすく、内容と質・量とも豊かに記述しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単語や学んだ表現を別冊にまとめることで、学習内容の定着に役立つよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単語リストを別冊にまとめることで、学習内容の定着に役立つよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単語リストを別冊にまとめることで、学習内容の定着に役立つよう工夫されている。
	<p>(2) 写真、挿絵、図表など、学習意欲を高めるための関連や学習効果に十分配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の挿絵や、写真を使って聞いたり書いたりすることで、学習意欲を高められるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵や、異文化理解を促す写真を使って聞いたり書いたり、ゲームを行ったりすることで、学習意欲を高められるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の扉には、写真があり、見開きの挿絵を見ながら表現に触れることで、学習意欲を高められるよう配慮されている。
	<p>(3) レイアウトや色彩、紙質、文字の大きさ、挿絵の活用、適切に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の学習の流れを整え、各活動を紙面の定位置に配置することで、安心感をもって学習に取り組めるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元において活動マークを示すことで、活動内容が伝わりやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開き構成で、教材の配列をパターン化することで、学習に集中できるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

英語

観点	発行者	教 出	光 村	啓林館
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章は、 か。にも 豊かに 記述内 容とな っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単語リストを巻末に分類してまとめることで、学習内容の定着に役立つよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単語リストを巻末に取り外し可能な絵辞典としてまとめることで、学習内容の定着に役立つよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単語リストを巻末に分類してまとめることで、学習内容の定着に役立つよう工夫されている。
	<p>(2) 写真、 挿絵、 図表な どは、 学習意 欲を高 められ るよう 配慮さ れている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の扉の映像に関する設問に答える活動を設定することで、学習意欲を高められるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の扉のアニメ映像に関する設問に答える活動を設定することで、学習意欲を高められるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の扉の挿絵に関する設問に答える活動を設定することで、学習意欲を高められるよう工夫されている。
	<p>(3) レイア ウトや 色、文 字の大 きさに ついて は、活 用紙質 、製本 等に 適切に 配慮さ れている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全ての単元を同じレイアウトで構成することで、学習に取り組みやすいよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元のまとまりごとに色を設定し、5つの領域を活動マークにすることで、分かりやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵を見て質問に答えたり英語の意味を推測したりすることで、内容が理解しやすくなるよう配慮されている。